



防災訓練のまとめと今後の課題

防災対策本部 神林 良定

四年に一回実施予定の地区防災訓練が今回は十月十七日北条中学校グラウンドを会場に行われました。

震度六強の地震発生を想定しての訓練は、訓練とは言え各町内会皆さんが真剣な眼差しで、過去二度の災害に遭遇した恐怖体験からか、臨場感があふれている感じがしました。

防災訓練については、あらゆることについての実施は困難で、今回は子どもたちの生命と自身を守ることを、非常食炊き出しをテーマとして行いました。

小中学校の先生方の児童生徒の徹底管理、並びに各町内会長さん、役員皆さんの責任ある行動とご協力に感謝いたします。

各町内会においては、橋や道路の破損を想定しての避難訓練なので、避難所到着までは本番さながらの苦労があったと推察します。

訓練開始に際して、防災本部からは災害内容についての情報が逐次無線放送されました。本部からの反省としては、内容把握確認が十分できる傾聴の訓練も必要と感じました。

今後の課題としては、土砂崩れや倒壊家屋からの負傷者救出訓練、負傷者を運ぶ担架の正しい取り扱い訓練も必要かと思えます。

地区皆さんの参加協力を心からお礼申し上げます。今回の訓練が今後の地区防災の礎となることを切に祈念いたします。

北条地区
コミュニティ
振興協議会
TEL25-3355

北条ネット
kitajo.net



いだ あやか

北条毛利街道 風土市を終えて

長鳥工房
代表 吉川アサ子

十一月十四日、北条毛利街道風土市も今年で四年になりました。天候ばかり気にしておりましたが、晴れて大勢の人々が出かけて下さって活気ある市となり喜ばしいことです。「商工会」さんからはみかんの詰め放題、焼鳥、甘酒サーブス。「温暖」さんからはコロッケなどの販売をして頂き、大変好評でした。

長鳥工房からは「親父会」 「花の会」の人たちに協力して頂き、シシ汁のサーブス。検校おやき、山いもをふんだんに使った長鳥そばが大変喜ばれました。

過疎になっていくこの長鳥で、こんな大きなイベントが出来た事、スタッフ一同感謝いたしております。



野菜・果物の詰め放題

高橋まゆみ人形出會旅

ふれあい推進室
小竹きよい

十一月十五日、あいにくの雨の中、参加者二十八名で目的地をめざして出発しました。

まず立ち寄った中野市農産物産館オランチエでは、野菜や果物等が信じられないほど安く買うことが出来て、参加者皆さまも満足したのではないのでしょうか。

楽しみにしていた高橋まゆみ人形館では、本当に見ていると、どこか懐かしい子供の頃の風景を思い出しました。

温かい気持ちに触れることができました。
昼食では、キク科の植物「おやまぼくち」をつなぎにした富倉そばをいただきながら、お店のご主人より料理の説明や、「正受庵」のお話をいただきました。

最後に、カヤ葺屋根でひっそり静かな正受庵で、落葉を踏みながら参拝しました。
帰りの車中はカラオケでにぎやかに過ごし、親睦を深めた旅となりました。



正受庵にて記念撮影

